SKS58200F0

JP 取扱説明書

冷蔵庫

はじめに

このたびは、AEG冷凍冷蔵庫／冷蔵庫／冷凍庫をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 取扱説明書の最後に製品保証書がついています。製品保証書の内容および「お買い上げ日/販売店名」の記入をお確かめのうえ、別紙設置マニュアルと共に大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管してください。
- 本機を他の人に譲渡されるときは、必ずこの取扱説明書を添付してください。
- 設置および使用が正しく行われなかった場合の故障や事故については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⚠ このマークの後には、「警告」「ご注意」に関する事項が書かれています。
本機の機能保護や、安全のために必ずお守りください。

i このマークの後には、本機を安全かつ、有効に利用するための情報が書かれています。

☞ このマークの後には、本機の使用に関する情報が書かれています。

このマークの後には、環境に配慮した使い方や情報が書かれています。

!? このマークの後には、その他の注意事項が書かれています。

- この取扱説明書には、製品が故障と思われる時に、お客様がご自分でトラブルを解決するための点検方法が書かれています。「故障かな？」と思われるときには、まずこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら…」をご覧ください。点検後も正常に作動しない場合には、本機の電源を切り、お買い上げの販売店、または当社のサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告
修理技術者以外の方は分解したり修理をしないでください。 技術者以外の方が修理すると、とても危険です。 必ず、お買い上げの販売店、または当社のサービスセンターにご連絡ください。

目次

本取扱説明書は、
冷凍冷蔵庫　SKS58240F0
冷凍庫　AGS58200F0
と内容は共通です。
冷蔵庫SKS58200F0の部分、共通部分のみをお読みください。

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
  また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠**警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠**注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合。

（絵表示の例）

⚠ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

この冷蔵冷凍庫は冷媒（庫内の冷却に必要な物質）として、炭化水素（イソブタン）を使用しています。炭化水素は天然ガスの一種で、現在多くの冷凍冷蔵庫で冷媒として使われているフロン類に比較して環境に与える影響が非常に少ない物質ですが、可燃性を有しています。冷媒は「冷却回路」に密封されており、通常のご使用において漏れ出す可能性は極めて少ないものですが、冷却回路が傷ついた場合などには漏れだし、発火・発煙などの原因になることがあります。ご使用に当たっては、初めてのご使用の前に、輸送や設置の際などに冷却装置や庫内の壁に傷がついていないか確認してください。傷があるものはご使用にならないでください。

アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

定格20A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 警告

単相200V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

電源プラグを、本機の背面に押し付けないでください。
傷つき過熱発火の恐れがあります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電やショート・発火の原因となります。

プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持ってください。電源コードは引っ張らないでください。感電やショート・発火することがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

引火性のガスまたは液体入りの容器は低温で漏れ出す可能性があり、爆発する危険性があります。スプレー容器、消化器の詰替用カートリッジなど、引火物が入った容器は絶対に冷蔵庫や冷凍庫で貯蔵しないでください。

冷凍庫には医薬品や学術試料は入れないでください。
家庭用冷凍庫では温度管理の厳しいものは保存できません。

可燃性スプレーを近くで使わないでください。
引火する危険があります。

都市ガスなどのガス漏れがあったときには、本機やコンセントには手を触れず、窓を開けて換気を良くしてください。
引火発火し、火災ややけどの原因となります。

ドアにぶら下がったり、引き出しや扉に乗ったりしないでください。
本機が倒れたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。

本体上部に水を入れた容器を置かないでください。こぼれた水で電気製品の絶縁が悪くなり、漏電・火災の恐れがあります。

上部スペースに重量物を置かないでください。
ドアの開閉で落下し、けがをすることがあります。

電源プラグの先端にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
火災の原因となります。

製品を清掃するときは、本体スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

⚠ 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

改造はしないでください。修理技術者以外の人は分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買上げの販売店または当社のサービスセンターにご相談ください。

庫内灯を交換するときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
感電の恐れがあります。

冷蔵庫や冷凍庫を廃棄処分するときは、ドアパッキンをはずしてください。
幼児が閉じ込められると危険です。

電気製品を冷蔵庫や冷凍庫のなかで操作しないでください（電気式のアイスクリームメーカーやミキサーなど）。

地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をしてください（キャビネットへのビス打ちなど）。
振動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。

お子さまの安全について

- 小さいお子さまは、家庭電化製品に対する危険性を十分に認識していません。お子さまが電化製品で遊ぶことがないよう十分にご注意ください。
- 梱包材（包装紙やポリスチレンなど）はお子さまにとって窒息の原因になるなど、危険な場合があります。梱包材をお子さまの近くに置かないでください。
- 廃棄処分する前に使用不可の状態にしてください。電源プラグを引き抜き、電源ケーブルを切断し、除去してください。また、ドアパッキンを外してください。お子さまが冷蔵庫のなかに閉じこめられ、窒息事故を起こしたり、それ以外の危険な状況に陥ったりすることを防ぎます。

＊本機は家庭用です。アフターサービスは家庭用対象とさせていただきます。
また食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

⚠ 注 意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

製品を据え付ける場合、調整脚が必ずキャビネット床につくように高さを調整してください（前後左右2個）。調整が不十分ですと、ドアの開閉で冷蔵庫が動いたり、転倒したりしてけがをすることがあります。

湿気の多いところや、水のかかるところへの設置は避けてください。
絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）には、濡れた手で触れないでください。
凍傷になる恐れがあります。

アイスクリームや角氷を、冷凍庫から出してすぐに口に入れることは避けてください。氷が唇や舌に凍り付いて、けがの原因となる可能性があります。

瓶や缶を冷凍庫内に入れないでください。中身が凍ると破裂することがあります。炭酸成分を多く含む飲み物の場合は爆発する可能性があります。

家庭用にご使用ください。
本機は、ご家庭で食品を低温で貯蔵することを目的として製造されています。
もしそれ以外の目的で利用されたり、誤使用によっておきた被害については、当社は一切の責任を追いかねますのでご注意ください。

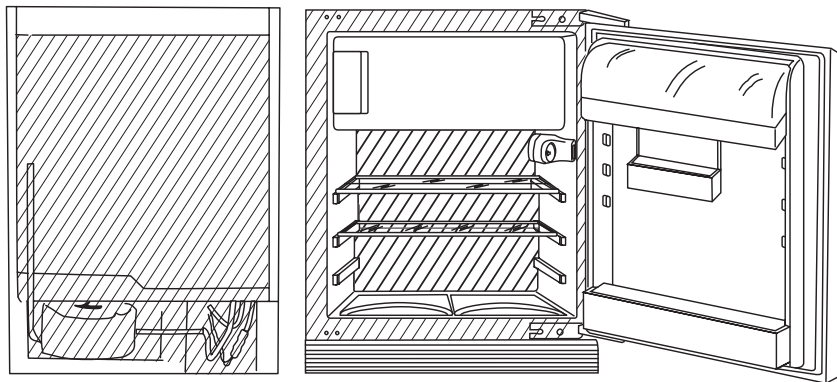
設置場所の温度
本機は、周囲の温度が＋10℃～＋38℃に適応するように設計されています。
ご使用にあたっては、機器周辺温度に十分ご注意ください。コンプレッサーの作動鈍化により、庫内が冷えないことがあります。

冷媒についてのご注意

⚠ 警告

本機には、冷媒（冷却効果をもたらす媒体）としてイソブタン（R600a）が使われています。この天然ガスはオゾン層を破壊せず、地球温暖化への負荷が非常に少ないなど、環境適合性に優れていますが引火性があります。下記事項に十分ご注意ください。

■ ご使用前に点検を

- ご使用前に、「冷却サーキット＊」のどの部品も破損していないことをご確認ください。もし破損が発見された場合、または、ご使用開始後に破損した場合には、ただちに使用を中止して、販売代理店または、当社のサービスセンターにご連絡ください。
  ＊ 冷却サーキット：冷媒が納められた閉鎖循環システム。主に、蒸発器、コンプレッサー、凝縮機、管製品で構成。
- 使用中に万が一、「冷却サーキット」が破損した場合には、
  – 直火や発火の元になるものを近づけないでください。
  – 製品が置かれている部屋の窓を開けるなどして、すみやかに換気してください。その際、換気扇のスイッチの入・切やコンセントの抜き差しは絶対に行わないでください。（下図斜線部を傷つけないようご注意ください）

■ 霜取りおよびお掃除のときに気をつけること

- 必ず、本体の電源を切り、電源プラグを抜いてから、霜取りやお手入れを行ってください。
- ドライヤーなどの電気器具や、火気を利用する機器を使って霜取りをすることは行わないでください。
  「霜取りスプレー」類は使用しないでください。
- 先の尖ったものや、庫内を傷つける可能性のある器具で霜を取ったり、お掃除をしないでください。霜取りは、付属の「霜取り用ヘラ」をお使いください。
- 本体背部の熱交換器をお手入れするときは、傷をつけないよう特にご注意ください。

適した設置場所

⚠ ご注意

本機は、ビルトインされた状態でのみお使いください。

- 本機は換気のよい乾燥した部屋に設置してください。
- 電気の消費量は、周囲の温度の影響を受けます。そのため、設置場所については、以下の注意をお守りください。
  - 直射日光にさらさないこと
  - 放熱機器、レンジなどの熱源に隣接して設置しないこと
  - 周囲の温度が、本機が対応している気候区分と一致する場所にのみ設置すること
- 気候区分は、本機の庫内左側または、野菜ボックス側部にある製品ラベルに記載されています。
  - つぎの表は、気候区分ごとの適した周囲温度を示したものです。

気候区分	周囲温度
S N	+10 ～ +32℃
N	+16 ～ +32℃
S T	+16 ～ +38℃
T	+16 ～ +43℃

＊本機は、(SN-N-ST) クラスです。+10 ℃～ +38 ℃の場所に設置してください。

- 止むをえず、熱源に隣接して設置する場合は、本機の両脇に最低下記の空間を設けてください。
  - 電気調理機器の場合は3cm
  - 石油や石炭、ガスで点火する調理機器、電気フライヤーの場合は30cm
- 上記の空間を設けられない場合は、レンジと冷蔵庫のあいだに必ず、断熱パッドを設置してください。
- 冷蔵庫を別の冷蔵庫や冷凍庫の隣に設置する場合は、本機の外側に結露ができないように、隣接部に断熱パッドを設置するか、両脇に5cmの空間が必要です。

ドアパッキンの点検

本機を設置後、ドアヒンジを交換した場合は、別添の設置マニュアルをご参照のうえ、ドアパッキンがドア全体に渡ってしっかり密着しているかどうかを点検してください。ドアパッキンに緩みがあると霜付きがひどくなり、電力消費量が上昇する場合があります。(「故障かな？と思ったら」の項をご参照ください。)

電源について

- 本機は、200 V対応機種です。ブレーカーは少なくとも20 A以上で単独回路が必要です。
- 適した電源に正しく設置してください。また、安全のためアース付きのコンセントを使用してください。

☞ 初めてお使いになる場合は、事前に本機の銘板をご確認のうえ、電圧と電流が本機種に対応しているかどうかをご確認ください。銘板は庫内の左側面または、ドアのボトルケース部に貼付されています。（例：200 V　50 Hz）

- コンセントは手が届く所に設置してください。

⚠ ご注意

接続や電源コードの交換等の工事は、ご自分では行わず、必ず、電気工事店にご依頼ください。本機の設置に関するご質問は、販売代理店、または当社のサービスセンターにお問い合わせください。

初めてお使いになる前に

新しい冷蔵庫・冷凍庫は、庫内が密封状態であったため、臭いが残っています。初めてお使いになるときは、あらかじめ冷蔵庫、冷凍庫の庫内とすべての付属品を清掃してください。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）

⚠ ご注意

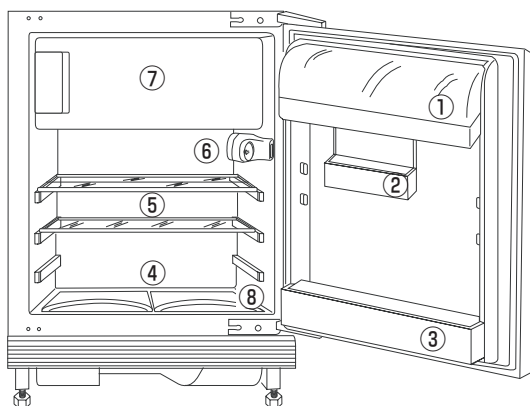
設置後、４時間たってから電源を入れてください。すぐに電源を入れると、故障の原因となることがあります。

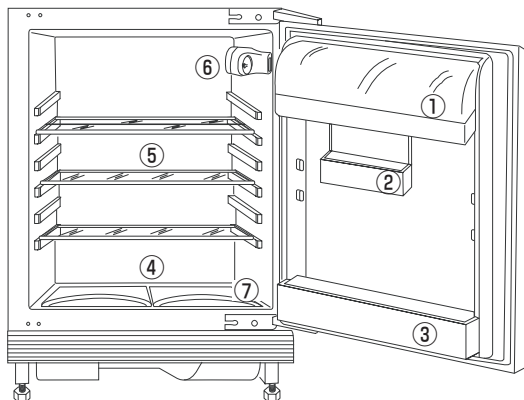
正しい冷蔵のヒント

- 庫内は場所によって冷蔵温度が異なります。食品は適した場所で冷蔵してください。
  最も低温部は一番下の棚部で、つぎに最上段の棚、野菜貯蔵室、ドアの貯蔵ケースとなります。
- 庫内の食品は、乾燥したり、他の食品の影響を受けたりすることがないように、必ずラップをするか包んでください。
- 包装材にはつぎの製品が適しています。
  ポリエチレンの真空バッグおよびラップ／プラスチック製の蓋付き容器／専用プラスチックカバー／アルミホイル

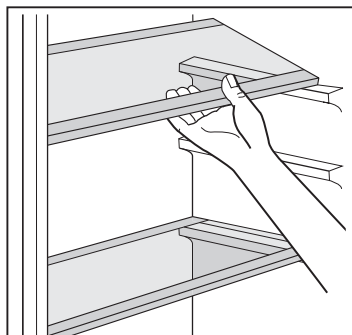
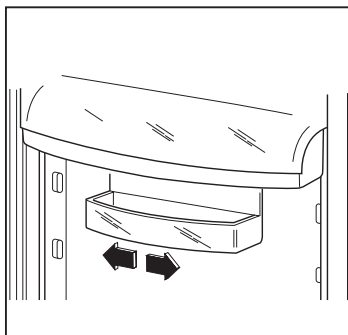
各部の名称と働き － SKS58240F0 / SKS58200F0

■ 冷凍冷蔵庫 (SKS58240F0)

① フタ付きバター・チーズケース
② レール付き貯蔵ケース
③ ボトルケース
④ 野菜貯蔵室
⑤ ガラス棚
⑥ 温度調節ダイヤル／庫内灯
⑦ 冷凍室
⑧ 銘板

■ 冷蔵庫 (SKS58200F0)

① フタ付きバター・チーズケース
② レール付き貯蔵ケース
③ ボトルケース
④ 野菜貯蔵室
⑤ ガラス棚
⑥ 温度調節ダイヤル／庫内灯
⑦ 銘板

■ 庫内棚／ドアポケット

ガラス製庫内棚とドアポケットが装備されています。野菜室上のガラス棚は、位置をずらさないでください。位置がずれると野菜や果物の鮮度が長持ちしません。

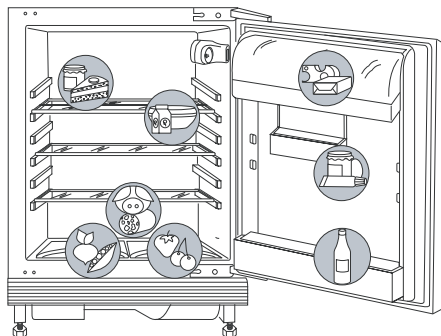
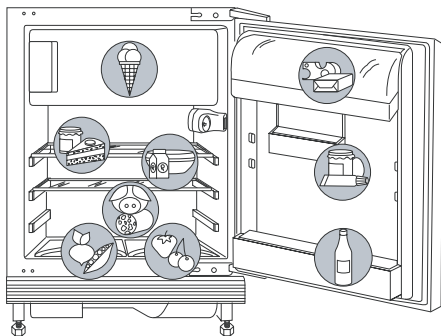
庫内棚のいろいろな高さへの調整

レール付き貯蔵ケース

■ 正しい保管方法

冷蔵庫内でも温度差が生じます。一番低温となるのは一番低い棚です。一番高温となるのは、一番上の棚、野菜室、そして扉内側のドアポケットです。

⚠ ご注意
冷蔵庫内の食品は、乾燥や他の食品を傷ませるのを防ぐため、常に覆うか包むかしてください。

梱包には、以下の使用が適しています。

- フリーザーバッグとポリエチレン製ラップ・蓋付きのプラスチック容器
- ビニール製のゴム入りカバー・アルミホイル

下図は、さまざまな食品が冷蔵庫内のどの部分に最も適しているかを表しています。

使い方 ー SKS58240F0 / SKS58200F0

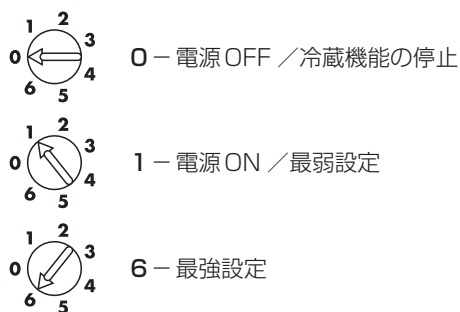
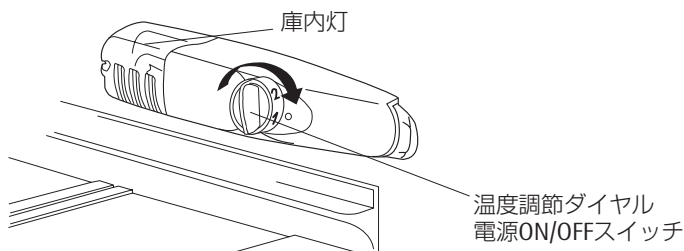
■ お使いになる前に

⚠ 警告

本機はビルトインされた状態でのみお使いください。

☞ ご使用前に、庫内と付属品を掃除してください。(「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。)

■ スイッチを入れ、温度を設定する

温度調節ダイヤルは、冷蔵室の右上部分にあります。
このダイヤルは、電源ON/OFFスイッチとしても使用します。

☞ 1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 温度調節ダイヤルを回して希望の温度に設定してください。
ー 庫内灯が点灯します。コンプレッサーが自動的に動き始めます。

⚠ ご注意

設定変更後、自動霜取りが行われている場合は、コンプレッサーはすぐには始動しません。

スイッチを入れると冷蔵庫内はすぐに設定温度まで下がります。充分冷えているのを確認してから食品を入れてください。

警告

すでに凍った食品の場合、冷凍庫内の温度が-18℃に下がってから入れてください。

食品の安全性を考慮した場合、十分に低温の保管温度として認められるのは、冷蔵庫内の場合は+5℃以下、冷凍庫内の場合は-18℃以下です。

庫内の温度は下記の要素によって、大きく影響を受けけます。上記設定内容は、あくまでも目安にしてください。
－冷凍冷蔵庫周囲の温度
－貯蔵する食品の量と温度
－ドアを開ける頻度と開放される時間
－機器の故障
特定の条件下では、温度調節ダイヤルの調整が必要な場合があります。

推奨設定値

例

室温	温度調節ダイヤルの位置
約10℃	"1"未満
約16℃	"2"前後
約25℃	"2"前後
約32℃	2～3
約38℃	1～2

ご注意

- 「推奨設定値」の表に記載された設定値を使用した場合、冷蔵庫内の平均温度は約+5℃、冷凍庫内の平均温度は約-18℃以下に維持されます。
- これら設定値は、室温が約10℃～約38℃の時に適用されます。
- 室温がさらに高い場合、温度調節ダイヤルを"2"または"3"にすると、冷凍庫内を冷やしすぎることなく生ものを適度に凍った状態にできます。

3. 庫内の温度をより高くあるいは低く調整したい場合、それぞれ温度調整を高くあるいは低く設定してください。

⚠ご注意

- 真夏または、機器周囲の温度が高く温度調節ダイヤルの設定が強め（“5” ～ “6” の位置）の場合、コンプレッサーが連続運転になる場合があります。
  室内の温度が高いとコンプレッサーが連続運転され、冷蔵庫内の低温が維持されます。
- 冷凍庫の自動霜取り機能はコンプレッサーが停止しているときのみ作動するため、コンプレッサーが運転中は冷凍庫の霜取りができません。（「霜取りについて」の項をご参照ください。）
  この状態を続けると冷蔵庫の奥の壁が厚い霜の層で覆われ、故障の原因となることがあるため、温度調節ダイヤルを弱めの設定に戻してください（“3” ～ “4” の位置）。
  コンプレッサーの運転／停止が交互に行われ、自動霜取りが再開されます。

■ スイッチを切る場合

☞ スイッチを切るには、温度調節ダイヤルを “0” の位置に合わせます。

■ 長時間使用しない場合は

☞ 1. 温度調節ダイヤルを “0” の位置に合わせてスイッチを切ります。
2. コンセントから電源プラグを抜いてください。または、単独ブレーカーを切ってください。
3. 庫内を掃除してください。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）
4. ドアを開放してください。臭いがこもるのを防ぎます。

■ フリージング（冷凍）するときのご注意

この冷蔵庫の冷凍室を使って、食品を冷凍し保存できます。

⚠ご注意

冷凍室は、温度が-18℃もしくはそれ以下にならなければ、食品を冷凍または冷凍食品を保存することはできません。推奨設定値については、「スイッチを入れ、温度を設定する」の項をご参照ください。

- 一度に多くの量を冷凍しないでください。（最大量24時間以内で2kg）
  食品の質を最も良く保つのは、できるだけ素早く食品の中心まで冷凍することです。
- 温かな食べ物は、冷えるまで待ってから冷凍してください。その熱のせいで、結氷量が増え、電力消費量が増える原因になります。
- 冷凍食品はメーカーの消費期限に注意してください。
- 一度解凍した食品を、再び冷凍することは絶対に避けてください。

⚠ご注意

冷凍食品に濡れた手で触らないでください。手が食品に凍り付いて皮膚を傷める恐れがあります。

■ フリージング（冷凍）する

☞ 1. 冷凍食品は、空気を抜いたパック済みのものだけを貯蔵庫に入れてください。これは、乾燥や、香りの消失、他の冷凍食品への香りが移ることを防ぐためです。
2. パックされた食品を冷凍室に平らに入れてください。
冷凍されていない食品と冷凍食品は、接触しないようにしてください。冷凍食品が溶けはじめることがあります。

- 冷凍を行なうには、以下のものが適しています。
  - フリーザーバッグとポリエチレン製ラップ
  - 冷凍食品専用缶
  - 厚みのあるアルミホイル
- 食品を密閉し梱包するには、以下のものが適しています。
  プラスチック製クリップ、ゴムバンド、テープ
- 密封前に空気を抜いて梱包を平らにしてください。空気があると冷凍食品を乾燥させます。
- 梱包を平らにすると、より早く冷凍ができます。
  液体などは冷凍中に膨張しますので、缶の淵にまで液体やペースト状の食品を入れないでください。

⚠ ご注意

冷凍方法については、メーカーの指示に従ってください。

■ 霜取りについて

冷蔵室の霜取り

冷蔵室の霜取りは自動的に行われます。

- 冷蔵室の奥壁は、コンプレッサーの運転中は霜で覆われ、コンプレッサーが運転を停止すると霜取りが行われます。
- 溶けた水は冷蔵庫の奥にある排水路に集められ、排水口を抜けて底部の集水部に送り込まれて、蒸発します。
- 排水口は常にきれいな状態にしておいてください。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）

冷凍室の霜取り

- ご使用中や、ドアの開閉にともなって、湿気が霜となって冷凍室にたまります。この霜は、添付の柔らかいプラスチック製スクレーパーで時々取り除いてください。霜を取り除くために硬いものや尖ったものは、絶対にご使用にならないでください。
- 霜取りは、厚さ３～５ミリほどになったら、必ず行ってください。また、３～５ミリに達していなくても、最低でも１年に１回は霜取りをしてください。
- 霜取りは、冷凍室が空になったときまたは、食品が少量のときに行うと容易に行えます。

⚠ 警告

- 霜取りを素早く行おうとして、電熱器などの機械的または人工的な装置をお使いになるのは絶対におやめください。
- 除霜スプレーはご使用にならないでください。身体に有害または、プラスチックを痛める物質が含まれている場合があります。

⚠ ご注意

冷凍食品に濡れた手で触らないでください。手が食品に凍り付いてしまうことがあります。

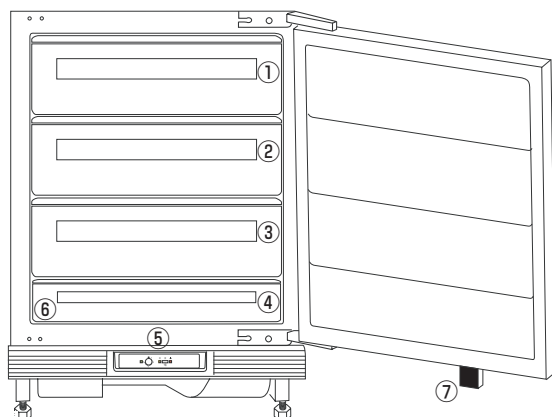
■ 霜取りの手順

☞ 1. 冷凍食品を取り出し、新聞紙数枚で包み、冷蔵庫内や、涼しい場所に保管してください。

2. 電源を切り、プラグを差し込み口から抜くか、またはブレーカーを切ってください。
   野菜貯蔵室の下にある排水口よりストッパーを外します。
3. 霜取りにより溶け出した霜が排水口に流れるようになります。
   霜取り後、冷凍庫内をきれいに掃除してください。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）
4. 食品を戻して、冷蔵庫の運転を再開してください。

各部の名称と働き － AGS58200F0

■ 冷凍庫 AGS58200F0

① 冷凍室／急速冷凍室
② 冷凍室
③ 冷凍室
④ 冷凍室
⑤ 操作パネル
⑥ 銘板
⑦ 警告システム用マグネット

アイスパック

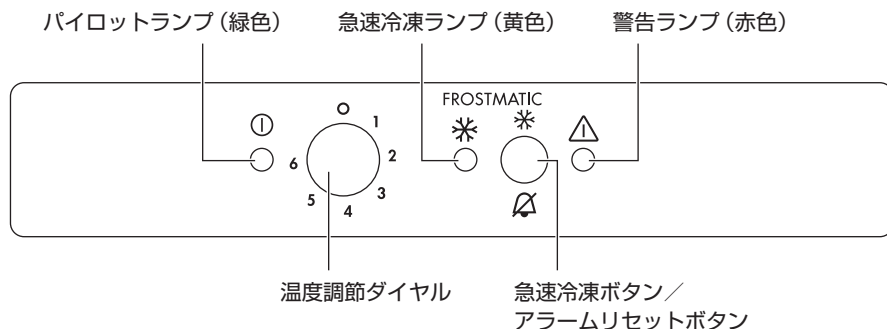
冷凍室④の引き出しにはアイスパックが入っており、つぎのような使い方ができます。

- 停電や誤作動などの場合に、一時的に冷凍された食品が溶けるのを防ぐ。
- 保冷バッグの冷蔵。

■ お使いになる前に

1. ご使用前に、庫内と付属品を掃除してください。
2. 冷凍室④からアイスパックを取り出してください。
3. アイスパックは、庫内が最適貯蔵温度になってから、最上段の引き出しに入れて冷凍を開始してください。
   冷凍庫の清掃後などで、解けてしまったアイスパックを改めて冷凍する場合も、手順は同じです。

冷凍庫の使い方 ー AGS58200F0

■ 電源を入れ、温度を設定する

1　電源プラグをコンセントに接続する。

2　温度調節ダイヤルを右方向に回し、真ん中ぐらいの位置（3または4）に設定する。
　本機の電源が入ります。
　パイロットランプ（緑色）が点灯し、2秒間アラーム音が鳴り自動的に運転を開始します。
　初めて電源を入れたときなど庫内の温度が高い場合は、警告ランプ（赤色）が点滅して、アラーム音が鳴り続けます。

3　急速冷凍ボタンを押して、アラーム音を切ってください。

4　庫内を冷やすため、急速冷凍ボタンをもう一度押してください。
　急速冷凍ランプ（黄色）が点灯し、急速冷凍運転を開始します。

⚠ご注意

冷凍室が最適温度（約－18℃）になり、警告ランプ（赤色）が消灯するまで、冷凍食品、アイスパックを貯蔵することはできません。

■ 電源を切る

1　温度調節ダイヤルを「0」の位置にする。
　パイロットランプ（緑色）が消灯し、2秒間アラーム音が鳴り電源が切れます。

■ 急速冷凍機能（FROSTMATIC）

急速冷凍機能は、生鮮食品の冷凍を加速し、同時に、温度上昇から食料を保護します。
急速冷凍スイッチを押すと、急速冷凍機能が作動します。急速冷凍ランプが点灯します。
急速冷凍スイッチを再度押すと、急速冷凍機能が切れます。急速冷凍ランプが消えます。
※この機能は52時間後に自動的に終了します。

■ 庫内の温度が上がったら

もし冷凍庫の中の温度が冷凍食品をこれ以上保存できないぐらいまで上がったら、警告ランプ（赤色）が点滅し、アラーム音が鳴ります。

1. 急速冷凍スイッチを押して、アラームのスイッチを切ってください。急速冷凍ランプが点灯します。必要な温度に再び到達するまで、警告ランプ（赤色）は点滅します。
2. 警告ランプ（赤色）を切ると、急速冷凍スイッチをつけることができます。急速冷凍ランプ（黄色）は消えます。

冷凍装置のスイッチが最初に入れられる場合、冷凍食品の貯蔵に安全なレベルまで温度が落ちるまで、警告ランプ（赤色）は点滅します。

本機は、警告ランプ（赤色）とアラーム音による警告システムを備えています。

警告ランプ（赤色）とアラーム音

- **警告システムが作動するのは、つぎの場合です。**
  - ① ドアを長い間、開けっぱなしにした場合
  - ② 冷凍室の温度が上がりすぎた場合
  - ③ 冷却システムに異常が起きた場合

- **ドア開放に関する警告**
  - ドアを60秒以上開けっぱなしにした場合、警告音が作動します。
  - ドアを閉めると警告音は解除されます。

- **温度上昇に関する警告**
  - 冷凍室の温度が－12℃より上昇すると、警告システムが作動します。
  - 冷凍室の温度が上昇する原因は、つぎの場合です。
    - ① ドアを頻繁に開閉するか、開けっ放しにする時間が長い場合
    - ② 温かい食品を大量に貯蔵した場合
    - ③ 周囲の温度が高い場合
    - ④ 冷却システムに異常がある場合

☞ **警告システムの解除**

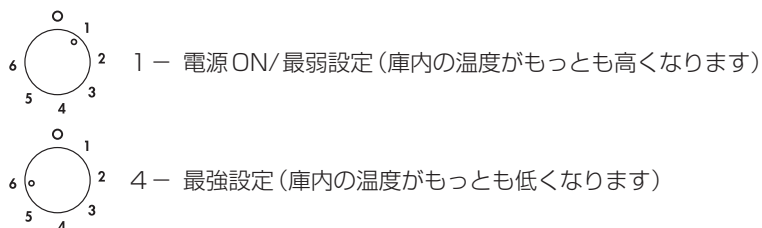
1. 急速冷凍ボタンを押して、警告音を消します（黄色の急速冷凍ランプが点灯）。
   警告ランプ（赤色）は、貯蔵温度に達するまで（温度が下がるまで）点灯し続けます。
2. 貯蔵温度に達し、赤色の警告ランプが消えたら、再度、急速冷凍ボタンを押してください。急速冷凍機能が解除され、黄色のランプが消灯します。

⚠ ご注意

本機では、スイッチを初めて入れた時に、警告システム（警告ランプ（赤色）及び警告音）が作動します。これは、冷凍室が必要な貯蔵温度に達していないためです。

■ 冷凍の開始

☞ 1. 温度調節ダイヤルを "1" に設定してください。
　　– 2秒間アラーム音が鳴ります。また、モーターが自動的に運転を開始し、パイロットランプ（緑色）が点灯します。
2. 警告ランプ（赤色）が点滅し、アラーム音が鳴ります。
　　– アラーム音を止めるには、急速冷凍ボタンを押します。警告ランプ（赤色）は点滅を続けます。再度、急速冷凍ボタンを押すと急速冷凍ランプ（黄色）が点灯します。
3. 警告ランプ（赤色）のみ消えた場合、急速冷凍ボタンを再度押し、急速冷凍ランプ（黄色）を消灯します。アラームが再度鳴ります。

温度調節ダイヤルを-18℃以下のお好みのレベルに設定してください。

■ 冷凍温度設定の目安

通常の冷凍："1.5" ～ "2" までの範囲

⚠ご注意
希望貯蔵温度が保たれるように、警告ランプ（赤色）と温度表示計を常に確認してください。

■ 冷凍庫のスイッチを切る場合

スイッチを切るには、温度調節ダイヤルを "0" の位置に合わせます。

長時間使用しない場合は

①全ての冷凍品と冷凍トレイを庫内から取り除いてください。
②温度調節ダイヤルを "0" の位置に合わせてスイッチを切ります。
③コンセントからプラグを抜いてください。または、単独ブレーカーを切ってください。
④冷凍室の霜取りをして、隅々まで清掃します。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）
⑤ドアを開放し、引き出しを少し開けておくと臭いがこもるのを防ぎます。

■ フリージング（冷凍）するときのご注意

この冷凍庫を使って、新鮮な食品を急速冷凍できます。

⚠ご注意

冷凍室は、温度が-18℃もしくはそれ以下にならなければ、食品を冷凍することはできません。

- 庫内左側面または、冷凍室側面の銘板に記載されている冷凍容量をお守りください。冷凍容量とは、24時間以内に冷凍できる新鮮食品の上限量です。数日にわたって連続して食品を冷凍したい場合は、銘板にある上限量の2/3から3/4程度に量を押さえてください。
  食品の質を最も良く保つのは、できるだけ素早く食品の中心まで冷凍することです。
- 温かな食べ物は、冷えるまで待ってから冷凍してください。その熱のせいで、結氷量が増え、電力消費量が増える原因になります。
- 一度解凍した食品を、再び冷凍することは絶対に避けてください。
- 冷凍食品はメーカーの消費期限に注意してください。
- 引火性のガスまたは液体入りの容器は低温で漏れ出す可能性があり、爆発する危険性があります。スプレー容器、消化器の詰替用カートリッジなど、引火物が入った容器は絶対に冷凍庫で貯蔵しないでください。
- 瓶や缶を冷凍庫内に入れないでください。中身が凍ると破裂することがあります。炭酸成分を多く含む飲み物の場合は爆発する可能性があります。レモネード、ジュース、ビール、ワイン、スパークリングワインなどは決して冷凍室に貯蔵しないでください。

■ フリージング（冷凍）する

☞ 1. 新鮮な食品を冷凍するために、急速冷凍ボタンを押します。
   － 急速冷凍ランプ（黄色）が点灯します。
   － 冷凍容量を最大限にするには、食品の冷凍を開始する24時間前に急速冷凍ボタンを押してください。急速冷凍ランプ（黄色）が点灯します。
   － 少量を冷凍するには、冷凍する4 ～ 6時間前に急速冷凍ボタンを押してください。
   － 手動で急速冷凍を解除しない場合は、52時間後に急速冷凍機能は自動的に解除され、急速冷凍ランプ（黄色）も消灯します。

2. 冷凍食品は、パック済みのものだけを貯蔵庫に入れてください。これは、乾燥や、香りの消失、他の冷凍食品への香りが移ることを防ぐためです。

⚠ご注意

冷凍食品に濡れた手で触らないでください。手が食品に凍り付いて　皮膚を傷める恐れがあります。

3. パック済み食品を冷凍室に入れてください。

– 急速冷凍する食品は、上２段の冷凍室に入れてください。

– 冷凍前の食品と冷凍された食品が触れないようにしてください。冷凍された食品が溶けることがあります。

– 下２段の冷凍室は既に冷凍された食品の保存にのみお使いください。

冷凍食品はできるだけ種類ごとに整理して冷凍室に入れてください。

4. 希望の冷凍温度に達したら、急速冷凍ボタンを押してください。急速冷凍ランプ（黄色）も消灯します。

- 冷凍を行なうには、以下のものが適しています。
  – フリーザーバッグとポリエチレン製ラップ
  – 冷凍食品専用缶
  – 厚みのあるアルミホイル
- 食品を密閉し梱包するには、以下のものが適しています。
  プラスチック製クリップ、ゴムバンド、テープ
- 密封前に空気を抜いて梱包を平らにしてください。空気があると冷凍食品を乾燥させます。
- 梱包を平らにすると、より早く冷凍ができます。
- 液体などは冷凍中に膨張しますので、缶の淵にまで液体やペースト状の食品を入れないでください。

フリージング（冷凍）した食品を下２段に移し、貯蔵することができます。

- 冷凍食品は、パック済みのものだけを貯蔵庫に入れてください。これは、乾燥や、香りの消失、他の冷凍食品への香りが移ることを防ぐためです。
- 冷凍食品は、貯蔵時間の限度と有効期限を守ってください。
- 冷凍食品は、できるだけ種類ごとに整理して引き出しに入れてください。
  貯蔵された食品に合わせて、引き出しのマークに取り付けるチップが添付しています。

■ 霜取りについて

- ご使用中やドアの開閉にともなって、湿気が霜となって冷蔵庫の内部、特に蒸発器にたまります。発生した霜は、市販の柔らかいプラスチック製スクレーパーで時々取り除いてください。その際、決して硬いものや尖ったものをご使用にならないでください。
- 霜取りは、厚さ３～５ミリほどになったら、必ず行ってください。また、３～５ミリに達していなくても、最低でも１年に１回は霜取りをしてください。
- 霜取りは、冷凍室が空になったときまたは、食品が少量のときに行うと容易に行えます。
- 温度上昇により冷凍食品の品質は低減されます。霜取りを行なう12時間前には、冷凍食品を極力冷やして保存しておいてください。

⚠警告

- 霜取りを素早く行おうとして、電熱器などの機械的または人工的な装置をお使いになるのは絶対におやめください。
- 除霜スプレーはご使用にならないでください。身体に有害または、プラスチックを痛める物質が含まれている場合があります。

⚠ご注意

冷凍食品に濡れた手で触らないでください。手が食品に凍り付いて皮膚を傷める恐れがあります。

■ 霜取りの手順

☞ 1. 冷凍食品を取り出し、新聞紙数枚で包み、冷蔵庫内や、涼しい場所に保管してください。
2. 電源を切り、プラグを差し込み口から抜くか、またはブレーカーを切ってください。
3. 貯蔵引き出しを、一番下の引き出しを残してすべて抜き出してください。一番下の引き出しを溶けた水滴を溜める容器としてご使用になると、より手軽に解凍ができます。
   - 熱湯の入った容器を冷凍庫内に入れ、ドアを閉めておくと解凍を早く行うことができます。
   - 溶けかけた氷の断片は、溶けてしまう前に取り除いてください。
4. 一番下の引き出しを抜き、冷凍庫内を乾燥させます。
5. 解凍が終わったら、引き出しに溜まった水を捨て、庫内とすべての付属品をきれいに掃除してください。（「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。）

お手入れとクリーニング(共通)

冷蔵庫・冷凍庫を衛生的に保つため、庫内や付属品は定期的に掃除してください。

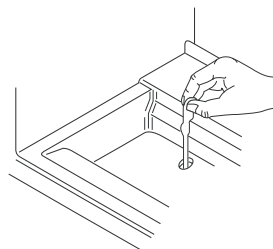
⚠ 警告

- 掃除の際は、感電防止のため、必ず電源を切ってください。清掃する前に、本体スイッチを切り、電源プラグを外すか、ブレーカーを切ってください。
- 清掃中は、コンセントにプラグを差し込まないでください。感電する危険があります。
- 清掃には、絶対に蒸気清浄器(スチームクリーナー)をご使用にならないでください。電気部品に湿気がたまり、感電する危険があります。高温の蒸気のせいでプラスチック部品が破損する可能性があります。
- 庫内が湿っているうちは、運転を開始することはできません。感電の恐れがあります。

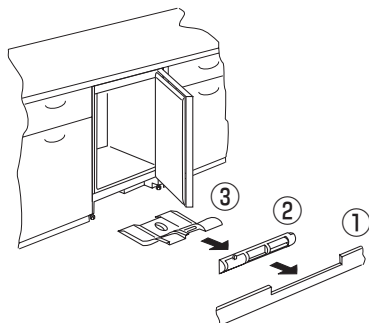
⚠ ご注意

- 住居用洗剤、エーテル油や有機溶剤はプラスチック部品を傷める可能性があります。また、下記の影響を受けることがありますので、これらが、庫内の部品に触れることのないようにしてください。
  - レモンジュースやオレンジの皮から作られたジュース
  - 酪酸
  - 酢酸を含む洗浄剤
- 研磨剤は種類を問わず、使用することはできません。

■ 掃除の手順

☞ 1. 食品を冷蔵庫から取り出します。
新聞紙などで、しっかりくるんで、涼しい場所で保管してください。
2. 掃除を始める前に、冷凍庫の霜取りを行ってください。(「霜取りの手順」の項をご参照ください。)
3. 電源スイッチを切ってください。プラグをコンセントから外し(または、ブレーカーを切る)てください。
4. 本体と庫内の付属品をお湯で絞った布で清掃してください。
必要に応じて食器用の洗剤を少量ご使用ください。
5. 清掃が終わったら、真水でふき取り、乾いた布で水気をふき取り、十分乾かします。
6. 冷蔵庫の奥にある排水口を点検します。排水口が詰まっていたら、付属の排水口清掃具(緑色)を使って詰まったものを取り除いてください。
7. すっかり乾いたら、食品を元通りに戻し、スイッチを入れてください。

ゴミが溜まると、冷蔵機能や消費電力に影響を及ぼします。

掃除機を使用して、以下の方法で壁側のゴミを掃除してください。

1. 巾木①と換気網②を動かします。
2. 注意してディフレクター③を取り外します。

省エネのヒント

- 本機を、オーブンレンジ、電気コンロ、その他の熱源の近くに設置しないでください。周囲の温度が高いと、コンプレッサーの稼働時間が長くなり、消費電力が増えることになります。
- 空気の循環及び、本機の巾木部および背面での排気が十分に行われるように気を付けてください。通気口は絶対に覆わないでください。
- 庫内に暖かい食品を入れないでください。食品は冷えてから入れてください。
- ドアの開閉は、必要最低限にしてください。
- 庫内温度は必要以上に低めに設定しないでください。
- 冷凍庫内温度は温度表示をご確認ください。
- 冷凍品は冷蔵庫で解凍してください。冷凍品の冷気が冷蔵庫の冷蔵効果を促進します。

故障かな？と思ったら

本機が正常に作動しない場合は、下記項目にそって、点検を行ってください。下記内容によって点検しても、正常に作動しない場合は、ご自分での修理は行わず、必ず販売代理店、または当社のサービスセンターにご連絡ください。下記内容による修理のご依頼、または、操作ミスによる故障の場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

⚠警告

冷蔵庫や冷凍庫の修理を行うことができるのは、修理技術者だけに限られています。修理が不適切だと、お客様に深刻な危険が生じる可能性があります。本機の修理は、必ず、販売代理店、または当社のサービスセンターにご依頼ください。

問　題	考えられる原因	解決方法
冷蔵庫が動かない	冷蔵庫のスイッチが切れている	電源スイッチを入れてください。
	電源プラグがはずれているか緩んでいる	電源プラグを差し込んでください。
	ブレーカーが落ちている、ヒューズが飛んだか故障がある	ブレーカーをオンにしてください。ヒューズを点検し、必要があれば交換してください。
	コンセントに欠陥がある	コンセントの異常は電気工事専門店にご相談ください。
冷蔵庫が冷えすぎる	温度設定が低すぎる	温度調節を一時的に高めに設定してください。
	温度が正しく調整されていない	「冷蔵庫の使い方」の項をご参照ください。
急速冷凍時にパイロットランプ（緑色）が点灯せず、急速冷凍ランプ（黄色）のみ点灯する	パイロットランプの故障	当社のサービスセンターへご連絡ください。
急速冷凍時に急速冷凍ランプ（黄色）のみ点灯しない	急速冷凍ランプの故障	当社のサービスセンターへご連絡ください。

問　題	考えられる原因	解決方法
食品が冷えない	長い時間ドアを開けていた	ドアの開閉は必要最低限にとどめてください。
	24時間以内に、温かい食品を大量に入れた	温度調節を一時的に低めに設定してください。
	本機の近くに熱源がある	「適した設置場所」の項をご参照ください。
庫内灯が点灯しない	電球に故障がある	「電球の交換」の項をご参照ください。
分厚い霜が付く（ドアシールにできる場合もあり）	ドアシールに隙間がある（ヒンジを交換後に発生することあり）	ヘアドライヤーを使ってドアパッキンの隙間部分を慎重に暖め（50℃を超えない温度で）、同時に手で、暖まったドアシールの形を整えて、正しく収まるようにします。
異常音	本機が水平になっていない	脚部の調整をやり直します。
	本機が壁や他の物体とくっついている	本機を少しだけ移動してください。
	本機の奥にあるパイプなどの部品が本機の別の部品や壁に触れている	必要があれば、その部品が邪魔にならないように、慎重に折り曲げてください。
コンプレッサーが、温度設定を変更後、すぐには始動しない	正常（故障ではありません）	コンプレッサーはしばらくたってから始動します。
水がフロアや庫内に出る	排水口が詰まっている	「お手入れとクリーニング」の項をご参照ください。
冷凍庫が十分に冷えず、警告ランプ（赤色）が点灯し、アラーム音が鳴る	温度が正しく調整されていない	「冷凍庫の使い方」の項をご参照ください。
	ドアが長い間開けっ放しになっていた	ドアの開閉は、必要最低限にとどめてください。
	24時間以内に温かい食品を大量に入れた	温度調節を一時的に強めの設定にしてください。
	本機の近くに熱源がある	「適した設置場所」の項をご参照ください。

運転中の騒音について

つぎの音は、冷蔵庫独特の音です。特に異常ではありません。

- **カチカチという音**
  コンプレッサーが運転と停止を切り替える際は、いつでもカチカチという音が聞こえます。
- **ブンブンという音**
  コンプレッサーが運転を開始するとすぐに、ブンブンという音が聞こえます。
- **ボコボコまたはパシャパシャという音**
  冷媒が細長い管に流れ込むと、ボコボコまたはパシャパシャという音が聞こえます。コンプレッサーが運転を停止したあとでも、しばらくはこの音が聞こえます。

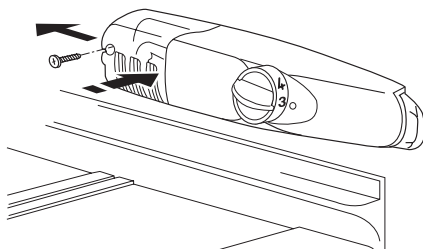
電球の交換 ー SKS58240F0 / SKS58200F0

⚠警告
感電する危険があります。電球を交換する前に、電源スイッチを切り、プラグを外して(またはブレーカーを切る)ください。

電球の仕様：220～240V、最大15W、ソケット：E14

電球のお求めは、販売代理店、当社のサービスセンターまでご用命ください。

取り付け方

1. 温度調節を "0" の位置まで回し、スイッチを切ってください。
2. 電源プラグを抜いてください。プラグが手に届かない場合はブレーカーを切ってください。
3. 電球のプラスねじを外してください。
4. 電球のカバーを後方に取り外します。
5. 切れた電球を交換します。
6. 電球のカバーとプラスねじで元通りに取り付けます。
7. 冷蔵庫を再稼動します。

アフターサービス

■ 保証について

1. この製品には製品保証書がついています。
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。もし、販売店の印がない場合、お客様が購入日を必ずご記入くださるようお願いいたします。
2. 保証期間はお買上げの日から1年間です。(ただし冷蔵庫のコンプレッサー、凝縮器、冷却器および冷媒管は5年。)
   保証書の記載内容により修理いたします。(保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。) 保証書がない場合は、無償修理が受けられない場合があります。
3. 保証期間後の修理は…
   販売店または当社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
4. 業務用での使用、車輌、船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障および損傷は、保証期間内でも原則として有料修理となります。

■ 修理を依頼されるときは

1. 「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは、使用をやめて差し込みプラグを抜くか、ブレーカーを落としてお買いあげの販売店または当社に次ページの内容をご連絡のうえ、修理をお申しつけください。お申し出により出張修理いたします。

⚠ ご注意

ご自分での修理はしないでください。大変危険です。
必ず、販売店または当社のサービスセンターにご依頼ください。

補修用性能部品について

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年間とさせていただいております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

■ お申込は…

サービスセンター（下記またはお買い上げの販売店にご連絡ください）
☎0120-5445-07（フリーダイヤル） FAX 03-5445-3211
〒108-0022 東京都港区海岸3-2-12　安田芝浦第２ビル
エレクトロラックス・ジャパン（株） 白物家電事業部　サービスセンター

■ ご連絡いただくこと…

品　　名　：　冷凍冷蔵庫／冷蔵庫／冷凍庫

形　　名　：　**SKS58240F0 / SKS58200F0 / AGS58200F0**
（形名は銘板に記載されています。）

使用開始年月　：　　年　　月　　日

故障の内容　：　（できるだけ詳しく）

PNC ....

S.N. ....

⚠ ご注意

保障期間内でも、操作ミスや設置不備による故障の場合は、費用が発生することがあります。

＊冷凍冷蔵庫／冷蔵庫／冷凍庫の本体庫内側面に製品情報を表記したラベルが貼付されています。製品番号（PNC）や製造番号（S.N.）はあらかじめ、製品保証書に転記されることをお勧めします。

製品の廃棄処分について

本体や梱包材は、家庭ごみとして廃棄できません。適切な電気電子機器のリサイクル回収場所へお持ちください。本機を正しく廃棄することにより、環境や人体の健康に及ぼす悪影響を防ぐことができます。本機のリサイクルに関する詳細は、地方自治体の機関、家庭ごみ回収業者、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

本機を廃棄する場合は、廃棄前に使用不能にしてください。電源コードからプラグを取り外し、電源コードは切断し、ドアパッキンを外してドアが閉まらないようにしてください。これは、お子さまが本機に閉じこめられる事故など（窒息する危険）を防止するためです。

■ 梱包材

梱包材は環境適合性があり、リサイクル可能な梱包材を使用しております。プラスチック部分には例えば＞PE＜、＞PS＜などの表示が付けられています。

技術用語について

冷媒：

冷却効果をもたらすために使用される液体が冷媒です。冷媒は比較的沸騰点が低く、その低さ故に冷蔵庫や冷凍庫内で貯蔵されている食品の熱によって、沸騰させ、気化させることができるのです。

冷媒サーキット：

冷媒が納められた閉鎖循環システム。冷媒サーキットは主に蒸発器、コンプレッサー、凝縮器、管製品で構成されます。

蒸発器：

冷媒は蒸発器の中で蒸発させせます。他のすべての液体と同様、冷媒が蒸発するには熱を必要としますが、この熱が庫内から取り除かれた結果として、庫内が冷却されるのです。そのため、蒸発器は冷蔵庫の内側、または内壁の真後ろにある発泡体の中に納められているので、目に触れることはありません。

コンプレッサー：

コンプレッサーは、見た目には小さな太鼓のような形をしています。内蔵の電気モーターによって駆動し、冷蔵庫の底部奥側に取り付けられています。気化した冷媒を蒸発器から取り込んで圧縮してから凝縮器に引き渡すのが、コンプレッサーの仕事です。

凝縮器：

凝縮器は通常は格子のような形をしています。コンプレッサーで圧縮された冷媒は凝縮器の中で液状にされ、その間に熱が凝縮器表面で回りの空気に放出されます。凝縮器は冷蔵庫の底部に取り付けられています。

仕様

品名		冷凍冷蔵庫	冷蔵庫	冷凍庫
形名		**SKS58240F0**	**SKS58200F0**	**AGS58200F0**
電源		200V　50/60Hz		
有効内容積（L）	冷蔵	100L	136L	—
	冷凍	17L	—	98L
消費電力		110/110W	110/110W	120/120W
消費電力量（JIS C9801:2006）		175kwh/年	117kwh/年	188kwh/年
冷凍能力		＊＊＊＊	—	＊＊＊＊
冷却方式		冷気自然対流方式（直冷式）		
霜取り方法	冷蔵	自動	自動	—
	冷凍	手動	—	手動
外形寸法（幅×奥行×高さ）		596mm×550mm×815mm		
重量		35kg	33kg	35kg

愛情点検　長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか	● 電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ● 電源コードに深いキズや変形がある。 ● 運転が時々止まる。 ● 焦げくさい臭いがする。 ● 床面にいつも水が溜まっている。 ● ビリビリと電気を感じる。 ● その他の異常や故障がある。

使用中止	**このような症状のときは、故障や事故防止のため使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜くか、単独ブレーカーを落として、必ず販売店、または当社サービスセンターに点検・修理をご相談ください。**

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ販売店または当社サービスセンターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、
   （1） 商品と本書をご提示のうえ、お買上げの販売店または、当社サービスセンターに依頼してください。
   （2） お買上げの販売店または、当社サービスセンターにご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
   なお、離島及び離島に準ずる遠隔地では、サービス対応に日数を要するか、対応不可能な場合がございます。発生する費用に関しては、実費を申し受けます。
3. ご贈答やご転居の場合のアフターサービスについては、事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でもつぎの場合には有料修理になります。
   （イ） 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ） お買上げ後の取付場所の移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ） 業務用での使用、車輌、船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ） 本書の提示がない場合
   （ヘ） 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （ト） メンテナンスに伴う部品の交換、メンテナンス費用等の適用除外、電波周波数変更等の適用除外
   （チ） 屋外での用途、設置をされた場合および弊社設置マニュアル以外の設置、ご使用での故障および損傷
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

（修理メモ）

※製品保証書は次ページについています。

※製品保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って製品保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または、当社サービスセンターにお問合せください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

製 品 保 証 書

本書はお買い上げの日から下記の期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容により、無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は「無料修理規定」をご参照ください。
「お買い上げ日」に記入がない場合は、お客様が購入日をご記入くださるようお願いいたします。

<table>
<tr><td>品名</td><td colspan="2">冷 蔵 庫</td><td>形名</td><td colspan="2">SKS58200F0</td></tr>
<tr><td>製品番号
PNC</td><td colspan="2">933 024 022</td><td>製造番号
S.N.</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td colspan="5">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="5">ご住所 〒
☎（　　）　　ー</td></tr>
<tr><td>※お買い上げ日</td><td>年　月　日</td><td rowspan="2" colspan="3">※取扱販売店名／住所／電話番号</td><td rowspan="2">担当者

印</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>（お買上げ日より） **1年**
ただし冷蔵庫の圧縮機、凝縮器、冷却器および冷媒管は５年</td></tr>
</table>

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
白物家電事業部

〒108-0022 東京都港区海岸3-2-12 安田芝浦第２ビル
TEL. 03-5445-3363　FAX. 03-5445-3362
サービスご相談窓口〈フリーダイヤル〉0120-5445-07
http://www.aeg-electrolux.jp

AL 2012. 09